

教育委員会

局mission	ESD (Education for Sustainable Development) の観点に立った学校教育を進め、子どもの主体性と探求能力、当事者意識を育み、自己肯定感が高まる学びの環境整備と、すべての市民が社会教育を受ける機会を提供する。
局vision	◇子どもたちの学びを支える人材の配置や学校施設の充実、教育のDX化の推進等により、すべての子どもたちの健やかな学びを保障する。 ◇学校外の子どもたちの学びと大人が生涯にわたって学ぶ機会を提供し、市民がつながり、地域がつながる場をつくり、子どもの育ち、市民の学びを推進している。
局value	【全国に誇るふるさと河内長野の教育】 誰のための教育かを常に問いながら、新たな時代に対応した、全国に誇る教育をめざす。すべての子どもたちのために、すべての市民のために。
局運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育においては、すべての子どもに伴走し、現場に寄り添うことを常に意識しながら、バランスと調和を保って施策を進める。 ・社会教育においては、地域課題を常に意識しながら、意義のある講座、事業を地域と連携して進める。 ・新たな一部制のもと、学校教育と社会教育の連携、融合を図るなかで、相乗効果を生み出す。



教育推進部	
部value	【全国に誇るふるさと河内長野の教育】 誰のための教育かを常に問いながら、新たな時代に対応した、全国に誇る教育をめざす。 すべての子どもたちのために、すべての市民のために。
部運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育においては、すべての子どもに伴走し、現場に寄り添うことを常に意識しながら、バランスと調和を保って施策を進める。 ・社会教育においては、地域課題を常に意識しながら、意義のある講座、事業を地域と連携して進める。 ・新たな一部制のもと、学校教育と社会教育の連携、融合を図るなかで、相乗効果を生み出す。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育においては、子どもたちが主体性を発揮しながら学ぶ授業づくりの研究を推進するため、研究校を指定して令和8年度以降の体制を構築した。また、一人ひとりの特性等に応じたきめ細やかな支援のための学校作業療法士等の専門人材の配置に向けて、人材確保や実施体制の構築を進めた。加えて、学校教育を支える教育環境の充実を図るため、児童生徒一人1台の学習者用端末の一括更新や、学校体育館の空調整備を完了した。 ・社会教育においては、子どもの育ちや市民の学びを推進するため、子ども読書活動推進計画(令和8年度改定版)や第2次文化財保存活用地域計画を策定するとともに、公民館を中心とした地域課題を意識した各種講座などを実施した。また、施設面でも、新加賀田公民館を小学校との複合化により整備した。 ・新たな一部制のもと、学校教育と社会教育の融合を図り、学校外での子どもの体験活動機会などの充実を進めた。